

(参考) 社会福祉施設の災害対応力の強化



背景・課題

令和6年能登半島地震では、**能登6市町の高齢者入所施設の約3分の1が運営休止**に至るなど多大な被害を受け、**多くの入所者が県内外の施設に広域避難**

一般的な課題	能登半島地震で顕在化した課題
個々の事業者による平時からの備え・近隣施設との連携	地域性（半島）による支援の難しさ・高齢者の広域避難

個々の施設の災害対応力の向上を促すとともに、地域における連携体制構築を目指す

取組内容

① 能登半島地震の検証

- 被災施設(高齢者・障害者の入所施設)の初動対応等を調査・分析

② 防災計画作成指針の改訂

- 各施設が防災計画を作成する際の県指針の改訂
→能登半島地震の実体験・教訓も踏まえ、設備・物資などの災害時の備えや近隣施設との連携など、事業継続を見据えた内容に

目指す姿(イメージ)

拠点施設を中心に地域全体で
介護提供体制が維持される体制づくり

